

第10代九州地方会会长挨拶

30周年記念に寄せて

九州大学大学院歯学研究院

口腔保健推進学講座小児口腔医学分野 教授 野 中 和 明
(第10代会長 平成20年4月～平成24年3月)



投稿依頼を受けながら多事に思いを馳せた。私が40歳前ごろ実父は逝った。彼は最後の徴兵の運命に遭い、無理矢理にも戦地に駆り出されたヒトであった。それから20年の歳月が流れてごく最近に義父が逝った。彼は最後の学徒奉仕の運命で軍需工場に駆り出されたヒトであった。悔しい限りである。寂寥感の中で、誕生は終焉へのスタートであることをまた痛感した。ヒトも組織も企業もそして国家もその例外でないことを歴史は実証済みあるが、自分だけは例外と思いたくなる身勝手な自分に哀れみを感じる。いかなる存在にも継続は願望であるが、いつかは終わりが訪れるのであろう。悔いが残らないように、これからも自分の意志と判断を大切にしながら、逞しさと柔軟さを持って孤独に耐えながら、家族と患者さまのために生きて行こうと思う。

誠に勝手ながら敬愛している福沢諭吉の訓を掲載させていただく。どうかご寛容いただきたい。

一、世の中で一番楽しく立派なことは、生涯を貫く仕事をもつことである。

二、世の中で一番悔めなことは、教養のないことである。

三、世の中で一番寂しいことは、仕事のないことである。

四、世の中で一番醜いことは、他人の生活をうらやむことである。

五、世の中で一番尊いことは、人のために奉仕して決して恩に着せないことである。

六、世の中で一番美しいことは、全てのものに愛情をもつことである。

七、世の中で一番悲しいなことは、嘘をつくことである。

八、世の中で一番大切なことは、全てのものに感謝の心で接することである。

小児歯科学会九州地方会の発展と学会員の皆様のご多幸を祈念申し上げます。感謝。